

2015花き生育情報(ユリ球根肥大及びノーズ形成・最終報)

オリエンタル系ユリの球根肥大及びノーズ形成状況について(2月16日現在)

平成28年2月18日
経営普及課
(農業革新支援担当)

新潟県農業総合研究所園芸研究センター(聖籠町)、中山間地農業技術センター(長岡市川口)、高冷地農業技術センター(津南町)におけるオリエンタル系ユリ球根定期観測結果から、今年の球根肥大及びノーズ形成状況についてのデータを紹介します。

1 供試球根

(1) 調査品種 : カサブランカ(2014年オランダ産TYS球根)

(2) 球根サイズと前年との比較

供試年度	球根サイズ	球根重(g)	球周(cm)	りん片(枚数)	葉数(枚)
2015	14/16	41.8	15.2	24.3	35.2
2014	14/16	46.7	15.4	24.0	36.0

注1) 同一ロット球根を供試した。

注2) データは園芸研究センターで調査した。

2 耕種概要

観測場所(所在地)		園芸研究センター(聖籠町)	中山間地農技センター(長岡市川口)	高冷地農技センター(津南町)
栽植距離		20×20cm 4条植	20×20cm 4条植	20×20cm 5条植
定植日(前年度定植日)		4月8日(4月9日)	5月25日(5月8日)	5月2日(5月15日)
施肥(kg/10a) N-P ₂ O ₅ -K ₂ O	基肥	15-15-15	15-15-15	20-15-20
	追肥	5- 5- 4 (6/2)	5- 5- 4 (6/29)	5- 0- 5 (6/29)
収穫日(前年度収穫日)		10月27日(11月6日)	11月6日(11月12日)	11月13日(11月11日)

3 生育状況

- (1) 草丈が短く、葉色も淡く、球根肥大は前年よりやや不良であった。
- (2) ノーズの確認時期は前年並み。
- (3) ノーズの大きさは前年並み～やや小さく、ノーズの伸長はほぼ停滞している。中山間地農業技術センターでは前年よりやや大きい。
- (4) 葉分化数は前年並み～やや少ない。中山間地農業技術センターでは前年よりやや多い。
- (5) 茎軸 Brix 値は前年よりやや高いが、ピークを越えて低下し始めている。中山間地農業技術センターでは前年よりやや低く、まだ上昇している。

4 具体的データ

添付ファイル「L20160216data」参照

※ 今年度の生育情報は今回で終了です。次年度も今年度と同様に情報提供する予定です。



写真1 球根肥大状況（左：球根、右：新球、園芸研究センター）



写真2 ノーズ形成状況（園芸研究センター）

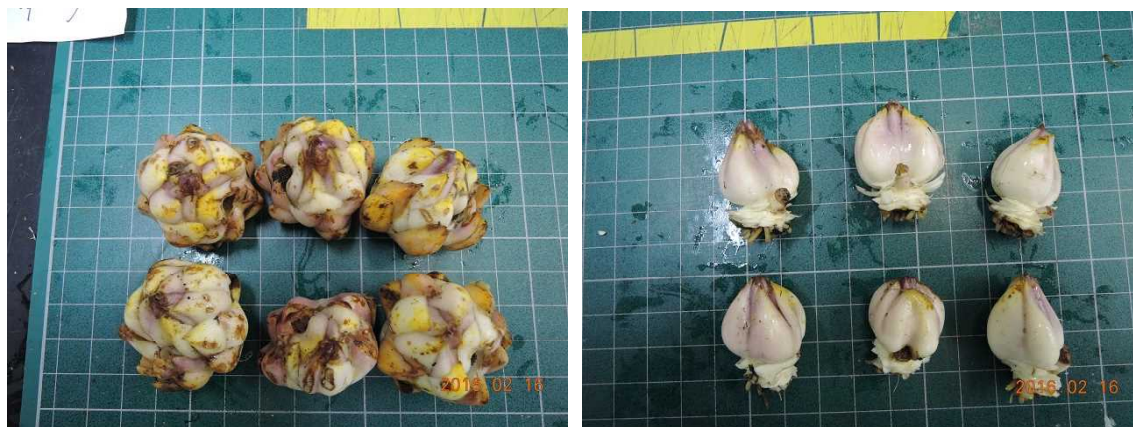


写真3 球根肥大状況（左：球根、右：新球、中山間地農業技術センター）



写真4 ノーズ形成状況（中山間地農業技術センター）



写真5 球根肥大状況（左：球根、右：新球、高冷地農業技術センター）



写真6 ノーズ形成状況（高冷地農業技術センター）